

麻の葉学園の夏祭りにて ボランティア活動を実施

8月7日、指定障害者支援施設麻の葉学園（福岡）で夏祭りが開催され、社協登録ボランティアのシニアボランティア15人が参加しました。他にも、坂下高校の生徒1人と福岡中学校の生徒19人と民生委員児童委員4人がボランティアとして参加しました。

お祭り中は、入所者の方が楽しめるように屋台での食事や、盆踊りや移動のサポートを行いました。

お客様が
大勢で楽しいね



屋台のお手伝いをしたよ



保育園を ピカピカに 三菱電機ボラ ンティアクラブ



子どもの高さに設置されている
場所での作業は大変です

8月22日、中津川市立苗木保育園で三菱電機株式会社中津川製作所ボランティア（MV）クラブの会員6人と、そのOBで構成されているひしの実会の会員9人が清掃ボランティアを行いました。当所製を安全・安心に使用していたく事を目的に、扇風機や換気扇の清掃を中心に行いました。

地元企業として、また地域住民として地域に貢献できることを誇りに感じました。暑い時間帯の活動でしたが、何事もなく無事に清掃が終わり、作業が終わったときには大変清々しい気持ちでした。少しづつではありますが、今後も継続していきたいと考えます。

高校生による車イスの 清掃・点検ボランティア

8月30日、にぎわいプラザで中津川工業高等学校の福祉クラブに所属している生徒3人が車イスの清掃ボランティア活動を行いました。

高校で学んだ機械等の整備に関する知識や技術を役立てる事を目的に、タイヤの空気圧の確認や清掃、点検、劣化した部品の交換など、熱心に作業をして下さいました。清掃した車イスは普段、車イス体験やボランティア活動に使用する物で、今後、子どもたちが安心して体験を行う事ができるので、とても助かりました。

さすが工業生!!
慣れた手つきで
作業を行いました



細かい作業も
おてのもの



車イス14台
整備するのは大変

手話講習会を開催

手話サークルかやの実会 すみれの会



手話サークルかやの実会では今年も6月から3カ月間、中津川、落合両会場で手話初心者を対象に『手話講習会』を開催し、延324人が熱心に受講されました。

規定回数以上参加した方には修了証が交付されました。

また、手話サークル『すみれの会』も福岡で同様に手話講習会を15回開催し延45人が参加しました。

今後手話を続けることにより、聴覚障がい者へのコミュニケーション支援の輪が広がることを期待します。



音訳講習会を開催

音訳サークルさざなみ会

音訳ボランティアさざなみ会が音訳をみなさまに周知するために今年も音訳講習会を8月23日〜27日の5日間開催しました。

講習会には毎回約20人の参加があり、音訳をみなさまに周知したいと、「音訳とは何か」「視覚障がいの方の支援について」「どんなボランティア活動を行っているのか」などを学びました。



フレンドリークラブ

〜広済寮夏祭りでの

ボランティア活動〜



7月24日にフレンドリークラブが特別養護老人ホーム広済寮の第32回夏祭りのボランティア活動を行いました。フレンドリークラブは毎年この夏祭りに参加しており、参加回数が20回を超えました。

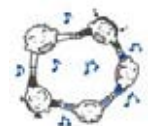
連日うだるような暑さの市街地と比べると、海拔800メートルに位置する広済寮は快適でした。お祭りでは、施設利用者の付き添いをしましたが、顔なじみの方も多く、一緒になって楽しみました。

フレンドリークラブの会員の大半が後期高齢者になりましたが、来年も元気に参加しようとして帰りに話しました。



今年も楽しい時間を過ごしたね
みんな元気に!来年も会いましょう!!!

つながる・ひろがる
ボランティア団体
紹介コーナー



吉川工務店

(平成10年5月発足 会員数125人)

「中津川市の地元企業として地域に何かしたい」という気持ちから平成10年に発足した、社協登録ボランティア団体『株式会社吉川工務店』は、社員125人全員がメンバーです。

活動内容は年2回、株式会社吉川工務店の社員と協力会社組織「胞山会」との合同で行う四ツ目川清掃活動と、国道19号落合三五沢ランプの道路清掃活動や、毎週月曜日にJR中津川駅の地下道や駐輪場の清掃活動を行っています。



また、会社を退職したOBのみなさんが年に一回中津川の公共施設の清掃活動、災害被災地への募金活動なども行っています。

中学生福祉

ボランティア基礎講座 中学生が福祉の基礎を学ぶ

8月6日に自らボランティア活動を実践していく意欲を育てることを目的に『中学生福祉ボランティア基礎講座』をにぎわいプラザで開催しました。

市内7校の生徒26人が参加し、福祉の基礎講義の他、視覚に障がいのある方の日常生活について当事者から講話などがいきました。

視覚に障がいがある方の日常生活を体験するためアイマスクを着けて食事をしました。また、車イスの基本操作や、まちへ出て車イスの方の生活について体感しました。

参加者全員で
ハイ!!チーズ!!



視覚障がいの方の話しを聞きました!!

アイマスクで食事をしました!!



車イスの基本操作を学んでまちへ出ました!!



グループでボランティアについて考えて発表しました!!



感想紹介



ボランティアは人と人とをつなぐことができるし、助け合うことで絆を深める事ができると思った。身近で今できることを継続したい。

感想紹介



今まで知らなかったユニバーサルデザインや視覚障がいの方の話が聞いて良かった。今後ボランティア活動に積極的に参加したいと思った。

今回の『中学生福祉ボランティア基礎講座』では福祉の基礎と身近でできるボランティアを学び、考えることにより、中学生から柔軟な意見が沢山でました。

今後は学んだことを身近な地域でのボランティア活動や日常生活に活かしていただくことを期待します。

福祉ボランティアセンターでは、さまざまなボランティアに関する相談・活動先の紹介等を行っておりますので是非気軽にお問い合わせください。

ボランティアセンター ☎66-1111 内線638・643



「中学生福祉ボランティア基礎講座」は赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しました。